

Munakata Foundation Grant Contract

宗像財団支援実施契約書

[ Project Title ]

バングラデシュ・ロヒンギャホストコミュニティの女性グループの組織強化を通じた自立支援

Quarterly Report 2022 年第 3 および第 4 四半期 (7~12 月)

1	Activities	When and Where
	<p>① <u>ヤギ銀行モニタリング支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 配付したヤギから産まれた子ヤギの数合計 26 頭。うち次の受益者に引き渡されたヤギは 7 頭</li> <li>▪ やむを得ない事故などによる配付したヤギの死亡は 3 頭。うち 2 頭分については新たに購入して、待機していた次の受益者に配付した。その資金の 1 割は受益者積立金より負担した。ヤギを失った受益者本人は新たに配付したヤギから産まれる子ヤギを受け取る予定。</li> <li>▪ 病気などによるヤギの死亡はなし。</li> </ul>	<p>全期間 Thaing Khali、 Ukhiya 郡、Cox's Bazar 県（以下同様）</p>
	<p>② <u>ヤギ銀行視察受け入れ</u></p> <p>JICA 草の根事業で開始したヤギ銀行グループの運営メンバー 15 人（5 グループ）が受益者グループ <b>Thaing Khali Mohila Somobay Sammity</b> の幹部メンバーを訪問し、ヤギ銀行運営の経験を共有し、また最初の受益者から次の受益者への子ヤギの引き渡し式への同席や受益者メンバーを訪問した。</p>	<p>2022 年 12 月 8 日</p>
	<p>③ <u>野菜栽培用種子・インプット配付</u></p> <p>11 月頃から作付けが開始の野菜栽培のために必要な種子（アマランサス、オクラ、ナス、ウリ類 2 種（Sweet Gourd、Bottle Gourd）と土壌改良のための石灰を 90 人に配付した。アマランサスは既に収穫が始まっており、販売したり消費されたりしている。</p>	<p>2022 年 11 月</p>
	<p>④ <u>ジェンダーエンパワメント啓発活動の計画・準備</u></p> <p>受益者グループ幹部と話し合いを持ち、研修トピックとして、ジェンダーに基づく暴力（GBV）、児童婚、乳幼児の栄養などに関心があるということで、主に GBV について研修をグループメンバー対象に実施することにした。ホストコミュニティで GBV の相談や被害者保護をしている支援団体とのネットワークを確立し、受益者グループのメン</p>	<p>2022 年 12 月</p>

	<p>バーやその周囲が支援を必要とする際にグループを通じてもしくは直接連絡が取れるようにする。そのために GBV について理解をするための啓発の内容も研修に含めることにした。</p> <p>1 回目は 2023 年 2 月中旬に実施し、2 回目は雨季に入る前の 4~5 月頃に実施する。</p> <p>2 回目は 1 回目の反応・効果を見て同じトピックを引き続き扱うか、栄養・衛生などのテーマを扱うか検討する。</p>	
2	<p><b>Beneficiaries (Number and Characters)</b></p> <p>女性グループ Thaing Khali Mohila Somobay Sammity</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ヤギ銀行</li> </ul> <p>直接受益者 25 人（ヤギ配付対象者）  次の受益者 25 人（直接受益者から子ヤギを受け取る人数）  女性グループのその他のメンバー 50 人（事業期間後のヤギ銀行の受益者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 野菜栽培</li> </ul> <p>90 人</p>	<p><b>Age and Gender</b></p> <p>成人女性</p>
3	<p><b>Current Challenges</b></p> <p>特になし</p>	
4	<p><b>Future Plans (Next 3 Months)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 事業のローカル人材による訪問モニタリング</li> <li>▪ ジェンダーエンパワメント啓発活動の準備と 1 回目の研修実施</li> </ul>	

